

# 高さ 2m 40cm 4度目の奇跡！

## 世界最大の「花」 ショクダイオオコンニャク咲きました

係員の誘導にしたがってご見学くださいますようにご協力をお願いいたします。

# コンニャク新聞



開花  
2018年  
(平成30年)  
6月26日(火)



6月26日(火) 19:28

### ショクダイオオコンニャク (*Amorphophallus titanum*)

インドネシア・スマトラ島の限られた場所に生える、サトイモ科の絶滅危惧植物です。巨大な花の集まり(花序)は、高さ3m、直径1m以上にもなり、世界で最も大きい花序をつける植物です。ギネスブックで認定された世界最大の記録は高さ3.1mです。

### 2018年(平成30年)6月26日(火)開花

- ◎同じ株が1年おきに4度も咲くのは日本初
- ◎日本での開花は17例目(当園では4回目)
- ◎花序のサイズ  
高さ 2m 40cm、直径 106cm
- ◎塊茎(イモ)のサイズ  
重量76kg、直径73cm、厚さ36cm

### プロフィール

1992年 小石川植物園で播種  
2006年 当園に受け入れ  
(葉の生育と休眠を数回繰り返す)

2012年5月25日 第1回開花  
◎花序のサイズ: 高さ2m6cm、直径93cm  
◎塊茎(イモ)のサイズ: 重量34kg、直径51cm、厚さ32cm

2014年7月3日 第2回開花  
◎花序のサイズ: 高さ2m72cm、直径108cm、  
◎塊茎(イモ)のサイズ: 重量70kg、直径66cm、厚さ42cm

2016年8月14日 第3回開花  
◎花序のサイズ: 高さ2m38cm、直径101cm、  
◎塊茎(イモ)のサイズ: 重量65kg、直径63cm、厚さ32cm

〈開花後、葉が生育開始〉

2018年2月25日 葉が倒れ休眠に入る  
2018年5月14日 植え替え

## 案内マップ

順路にそって  
お進みください

熱帯雨林温室 1Fへ

❗ 印の部分から入ってご見学することはできません。

熱帯雨林温室の入口は2階です。車イス、ベビーカーご利用の方、階段の昇降が困難な方は★印1階入口より入場できます。

## ショクダイオオコンニャク Q&A

### Q: コンニャクは作れますか？

A: 作れます。食用のコンニャクイモ1kgで板コンニャク16~18枚ができるので、76kgの今回のイモからは1216~1368枚できる計算になります。

### Q: 花が終わったらどうなりますか？

A: 花は倒れます。しばらくするとイモから葉芽が出て、高さ4mくらいの葉が広がります。

### Q: 世界最大の花はラフレシアではないのですか？

A: 1つの花としてはラフレシアが最大で、直径1メートルほどになります。ショクダイオオコンニャクは、1つの花のように見えますが、正確には花序(花の集まり)で、タンポポのようにたくさんの小さな花が集まって咲きます。

### Q: どうして7年で4回も咲いたのですか？

A: 毎日ほめて育てました。  
スターの素質があるイモなのかもしれません。  
本当のところはわかりません。



予告 夏休み 植物園フェスタ

楽しいいっぱい!

7/24火 ▶ 8/5日

7/30(月) 休園  
開園時間 9時~17時(入園は16時30分まで)